2019年度 自己点検·評価報告書



2020年6月

学校法人京都中央学院 YIC京都ビューティ専門学校

まえがき

本校は、2010 年 4 月に「YIC 京都ビューティ専門学校」として、〈専〉YIC 京都工科大学校から分離独立しました。現在は、ビューティスペシャリスト科、美容科、美容科通信課程、ブライダル科の編成から成る総合ビューティ系専門学校として、教育活動に邁進しております。良識ある社会人として必要な資質を持ち、地域社会の発展に貢献できる心豊かなビューティ業界のスペシャリストとして活躍できる人材を育成することを教育理念とし、「もの」から「こころ」へ、美と健康、癒しという社会の要請に応えることで、信頼される学生を地域社会に送り出しております。

いま、専門学校は、18 歳人口の減少や社会のグローバル化の中で、教育の質の保証等が求められており、職業実践的な教育機関として、一層の自助努力と自己革新の必要に迫られています。

このような中で、本校の各学科は、専門分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行う学校として文部科学省から「職業実践専門課程」の認定(美容科通信課程を除く)を受けてまいりました。また、企業、関係学協会、及び本校関係者から成る「学校関係者評価委員会」や「教育課程編成委員会」からの意見も伺いながら、自己点検・評価を行っているところです。

この度、2019年度自己点検・評価結果を通して、本校の教育活動の全容を広く学外に公表することにより、本校構成員のみならず関係企業、関係学協会、卒業生、あるいは第3者の立場の方々からご意見をいただき、自らの責任をもって改善を行っていきたいと考えておりますので、皆様方のご意見・ご要望をいただければ幸いです。

2020年6月

学校法人京都中央学院 YIC 京都ビューティ専門学校 校 長 村 田 忠 男

2019年度 YIC京都ビューティ専門学校 自己点検・評価結果

実施日: 2019年 4月 1日 ~ 2020年 3月31日

学校名: YIC京都ビューティ専門学校

1. 学校の教育目標

- 1. 専門知識と技術を習得し、自己研鑚に励む人財を育成する。
- 2. 社会の変化に対応できる人財を育成する。
- 3. 慈愛の心をもち、他職種とも協調できる人財を育成する。
- 4. 利他の精神で、地域の発展・向上に貢献できる人財を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)教育の質の保証
 - ・2019年度の目標から、教職員の能力アップとともに、学生指導が教員の中で共有され、システムとして機能するように意識・体制をブラッシュアップする。
 - ・美容科、ビューティスペシャリスト科、ブライダル科のコンセプトを全教員が再度理解し、共通認識の上で現場で 求められる人材育成に努める。
- (2) 退学者3%以下
 - ・担任を中心としながらも学科・教務全体でクラス運営に関わり、他部署とも連携を図りながら、学生一人一人の 状況を的確に把握する。
 - ・保護者と連絡を密に取り、学校と家庭が連携した指導を行う。
- (3)入学定員の充足
 - ・オープンキャンパス等への参加者の一人一人の思いをしっかりと受け止め、高校生に寄り添った進路指導の サポートをし、不安の解消に努める。
 - ・社会のニーズを把握し、社会に貢献出来る学生を育てる事により高校生・保護者から選んでいただく。
 - ・オープンキャンパス参加者に、美容師、ヘアメイク、ブライダルスタイリスト、エステティシャン、ビューティアドバイザー、ネイリスト、ウェディングプランナーの7つのキーワードを伝え職業観を理解、YIC京都に共感していただき出願に繋げる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1	1 教育理念・目標				ぼ適切・ 2. 不適		エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
1	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	学生便覧 学校案内(パンフレット) 学校ホームページ	4.2
1	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	3	2		職業実践専門課程委員会の議事録 学内就職説明会アンケート オープンキャンパス参加者アンケート	3.1.1
1	3	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズ に向けて方向づけられているか	4	3	2	1	学生便覧 学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録 学校ホームページ	3.1.2 e)
1	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	3	2	1	学校案内(パンフレット) 学校ホームページ	3.1.3 a)
1	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周 知されているか	4	3	2	1	学生便覧 オープンキャンパス保護者説明会資料 入学前新入生保護者説明会資料 学校ホームページ	3.3.1 a)

① 課題

1-5においては、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに関して、学生や保護者の理解度が不十分に感じる。

② 今後の改善方策

新入生保護者説明会、及びオリエンテーションで3つのポリシーについてしっかり説明する。また、学生については日々の指導においても繰り返し伝える。

2	学	校運営			ぼ適切・ 2. 不適		エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切 な運営がなされているか	4	3	2	1	学則 学校設置認可申請書 学校ホームページ	4.1 x)
2	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4	3	2	1	組織図 校務分掌 経営計画書	4.1
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1	財務報告関係(ホームページ開示資料) 起案書・審議資料作成ガイドライン 部門ミーティング議事録 経営会議資料 学校中期計画・学校計画	4.1
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1	学校中期計画·学校計画 事業計画書	4.2
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	学校中期計画·学校計画 事業計画書 経営計画書	4.2
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	2	1	組織図 給与規程 出張旅費支給規程 自己申告制度規程	4.1
2	7	専任教員は適正に配置されているか	4	3	2	1	時間割一覧表	4.6.1 4.6.2 e)
2	8	専任教員の講義・実習負担は妥当であるか	4	3	2	1	時間割一覧表	4.6.1 4.6.2 e)
2	9	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情 報交換を行っているか	4	3	2	1	非常勤講師懇談会実施要項 授業アンケートによる面談記録 授業参観記録	4.7
2	10	業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組ができているか(苦情及び要請への対応を含む)	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録 クレーム処理手順及びクレーム報告書 貸し教室・貸し会議室利用アンケート	4.10
2	11	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	ホームページ上の「情報公開」ページ	3.3.1 x)
2	12	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1	グループウェア内のメニュー画面(業務効率化) 各種証明書発行までの流れ(フロー) sーWing入力画面 高校情報記録 オープンキャンパスお申込確認一覧 グループウェア企業記録画面	4.7 x)
2	13	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当 性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	3	2	1	理事会議事録 経営会議議事録 部門ミーティング議事録 経営計画書 学校中期計画・学校計画	4.3
2	14	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立 しているか	4	3	2	1	クレーム処理手順書 クレーム対応報告書	4.4
2	15	学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違 がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	3	2	1	ホットライン電話及びメール(学生便覧記載)	3.3.1 d)

2-6においては、同一労働同一賃金ガイドラインに基づく均衡待遇、均等待遇を満たしているエビデンスの整理が課題である。 2-9においては、さらに「授業の質の改善」を行うために、専任教員及び非常勤講師を含めての教員にスキルアップの取組みが必要がある。

② 今後の改善方策

厚生労働省が発行している不合理な待遇差解消のための点検・検討マニュアルを利用し、エビデンスの整理、制度の確認を実施する。 非常勤講師の先生方との定期的な打合せと、5月及び10月を『授業見学月間』として実施する。また、年間を通して授業参観を実施する。

3	孝	枚育活動		··4、ほ 不適切·			エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされ ているか	4	3	2	1	教育課程 シラパス 学生便覧 学校ホームページ	3.1.3 c) 3.3.1 b)
3	2	自主学習を含む学習時間・学習方法として、カリキュラムの目的や要件に対応し、学生の生活時間や学習時間に配慮した設計がなされているか	4	3	2	1	教育課程 シラバス 時間割一覧表 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 b)
3	3	講義科目の名称とその内容・時間配分に関し、体系的に編成されているか	4	3	2	1	美容師養成施設指定規則 教育課程 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 b)
3	4	実習科目の名称とその内容・時間配分に関し、体系的に編成されているか	4	3	2	1	美容師養成施設指定規則 教育課程 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 b)
3	5	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認 するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	3	2	1	リメディアル教育の取組 リメディアル教育進捗状況確認資料 オープンキャンパス内コミュニケーションタイム AO入試グループガイダンス面談シート 授業アンケート 新入生宿泊研修時の学力テスト	3.1.3 b)
3	6	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録 キャリア教育の授業実施(授業シラバス) ネットワークサロン懇談会の実施(アンケートシート)	3.1.3 d) 3.2.3 b)
3	7	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録	3.2.1
3	8	講義および実習に関するシラバスは作成されているか (学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか)	4	3	2		教育課程 シラバス 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 a)
3	9	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1	教育課程 シラバス 美容師養成施設指定規則	3.2.2
3	10	シラバスには到達目標が記載されているか (Can-Doを意識した到達目標の明示)	4	3	2		シラバス 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 a)
3	11	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	教育課程 シラバス インターンシップ依頼に関する会議資料 学生便覧 学校ホームページ	3.2.3 c)
3	12	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか (あるいはホームページなどで公開されているか)	4	3	2		教育課程 シラバス 学校ホームページ	3.3.1 a) 3.3.1 f)
3	13	実技・実習が講義と連動するなど、効果的学習に配慮されているか	4	3	2	1	教育課程 シラバス 学校ホームページ	3.2.3 b)
3	14	カリキュラムの作成・見直し等に関し、定期的に外部者の評価や意見 を取り入れているか		3	2	1	学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録 連携授業に関する打合せ資料 ネットワークサロン懇談会	3.2.2
3	15	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業 要件はきちんと提示されているか		3	2	1	教育課程 シラバス 学生便覧 新入生保護者説明会資料 学校ホームページ	3.5.1 b)
3	16	インターンシップについて、依頼先と十分なコミュニケーションをとり、 その内容、評価法などを事前に決めているか	4	3	2		インターンシップ記録(実施計画・評価方法) インターンシップに関する覚書	3.2.3 c)
3	17	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか (第三者による授業評価を行っているか)	4	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録	3.5.1 c)
3	18	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定され、個人情報保護 への配慮がされているか	4	3	2	1	グループウェアログイン画面 ブライバシーポリシー グループウェア権限設定	3.5.2 a)

3-8、3-9においては更に体系的に作成し、保護者、高校、企業へ理解していただく必要がある

② 今後の改善方策

カリキュラムマップを作成する。

4	学	华修成果	適切 やや2	··4、ほ 下適切·:	ぼ適切 2. 不適	··3、 顿·1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目 を定め、明確な基準で実施されているか	4	3	2	1	シラバス 学生便覧 学校ホームページ	3.5.1 x)
4	2	就職率の向上が図られているか		3	2	1	就職希望調査票 内定者数一覧 学内就職ガイダンス実施要項	3.5.3 c)
4	3	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2		資格対策授業計画表 事業計画報告書	3.5.3 c)
4	4	退学率の低減が図られているか (学生の卒業率はどうか)	4	3	2		QUを実施(診断結果分析シート) 経営会議資料(退学率情報提供) 卒業判定、単位認定会議資料(成績一覧)	3.5.3 c)
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生 の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援 を行っているか)		3	2	1	卒業生動向調査 「専門課程就職先一覧(卒業生動向)最新版」 卒業生の情報を企業情報データで把握	3.2.2
4	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	4	3	2	1	学生便覧 学校ホームページ	3.5.1 a)
4	7	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方 法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	3	2	1	自己申告シート 職務目標・能力申告表 教育課程編成委員会議事録	3.5.1 b)
4	8	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	3	2	1	成績証明書	3.5.2 a)
4	9	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	3	2	1	学校中期計画·学校計画 事業報告書	3.5.3 c)
4	10	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、 最終目標及び要件を明確にしているか	4	3	2	1	教育課程 シラバス 学生便覧 職業訓練認定書類 専門実践教育給付制度指定講座明示書	3.1.2 b)
4	11	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活 用されているか	4	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録 キャリアマップのご案内画面 グループウェア企業記録画面	4.4

4-5においては卒業生の動向だけでな在学中に身に付けた知識・技術がどのように評価されているかを把握する。

② 今後の改善方策

美容サロンネットワークといった業界・企業との連携を進めている分野もあり、他の分野も同じような取組みを、さらに活発に進めていきながら、内定先企業様に協力してもらい、3か月6ヵ月1年後の勤務評価チャートのチェックを提出していただく

5	学	生支援			ぼ適切 2. 不通		エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか (またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか)		3	2	1	学生便覧	3.1.2 c)
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか)		3	2	1	学生便覧 なんでも相談室設置 カウンセリング報告書	3.1.2 c)
5	3	保護者と適切に連携しているか(保護者の二一ズを把握しているか)	4	3	2		学生・保護者の面談記録	3.1.2 e)
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	専門実践教育給付金制度有効指定講座一覧表 学生募集要項	3.1.3 c)
5	5	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか	4	3	2	1	学び直しセミナーの関連資料 学び直しセミナー資料	3.2.2
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	3	2	1	学生便覧	3.3.1 e)
5		奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されて いるか	4	3	2	1	学生支援からのお知らせ 在校生対象特待奨学生選抜試験実施要項 高等教育学費支援新制度認定校一覧	3.3.1 x)
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	4	3	2	1	校務分掌 健康診断実施要項 なんでも相談室設置	3.5.2 b)
5	9	授業についてこられない学生に対して、リメディアル教育や他コースの 紹介などの支援策を実施しているか	4	3	2	1	リメディアル教材案内 リメディアル教育進捗状況確認資料	3.5.2 b)
5	10	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	部活動·同好会規程	3.3.1 x)
5	11	学生の生活環境への支援体制はあるか (学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	4	3	2	1	ひとり暮らしサポート制度申込み書 学生指導記録	3.3.1 x)
5	12	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1	現在は取組みをしていない	3.3.1 x)

5-9においては、入学前のリメディアル教育だけでなく、入学後の学力向上に関して力を入れていく必要がある。 5-12においては、現在は媒体業者を通じつのキャリア教育(ガイダンス:職業別理解)等を除いては連携授業等は実施していない。

② 今後の改善方策

教務と学生支援が連携しながら、また教務も各学校の横断的な考え方で取組みが出来るようにする。 高校側への直接的なアプローチを行いニーズに合わせて対応する。

6	教	文育環境		··4、ほ 下適切·			エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている か(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)		3	2	1	時間割一覧表 学校平面図 学則変更届	3.3.3 4.8
6	2	実習室には実習に必要な設備が備わっているか	4	3	2		備品一覧	3.3.3
6	3	各専門分野において基本的に用いる機材等を使用できる実習室が備 わっているか、また必要な数の機材等を使用できるか	4	3	2		学校平面図 教室·実習室一覧	3.3.2 a), c)
6	4	自己学習に必要な図書室ないし図書スペースを設置しているか	4	3	2	1	学校平面図 教室·実習室一覧	3.3.3
6	5	授業や実習にコンピュータが利用できる環境が設置されているか	4	3	2		教育課程 シラパス 時間割一覧表 学校平面図 パソコン実習室備品一覧	3.3.3
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	4	3	2	1	実習室の在庫チェックリスト 備品管理簿 電球・蛍光灯等管理簿 昇降機の定期検査報告書 貯水槽・清掃点検・仕様基準 エレベータ点検報告書(OTID)	3.3.2 a)
3	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	3	2	1	時間割一覧表 学校平面図 グループウェア教室予約状況	3.3.2 c) 4.8
6	8	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避 難訓練を実施しているか	4	3	2	1	教職員研修計画 消防(避難)訓練実施要項 自衛消防訓練通知書 道路使用許可申請書 公園使用届 グループウェア、訓練実施アンケート	3.3.2 b)
6	9	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1	消防計画 防災規程 防火管理規定 危機管理規定 自営消防組織表 消防用設備等点検結果報告書	4.5 b)
6	10	学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	インターンシップに関する覚書 職業教育協定書(事業委託契約書)	4.8
6	11	外部へのインターンシップにおいて、学生に学ばせたい技術、知識な どを事前に相談しているか、また評価基準なども相談しているか	4	3	2	1	インターンシップ記録(実施計画・評価方法) インターンシップに関する覚書	3.3.1 a), b), f)
6	12	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に 実施しているか	4	3	2	1	海外研修旅行説明会資料および 旅のしおり(海外研修)	3.3.3

6-5においては、インターネット環境等一部学内のインフラ整備に課題がある。また、今後はさらにICTを活用した授業の取組みが出来るようにする必要がある。

② 今後の改善方策

インターネットの環境等を見直して対応できるようにする。

7	亨	生の受入れ募集			ぼ適切・ 2. 不適		エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学時に誓約書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4	3	2	1	期限を決めて誓約書を取り交わしている	3.1.2 f)
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、 適切な管理を行っているか	4	3	2	1	入学志願書の保管	3.1.2 a)
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	3	2	1	学生募集要項 学校ホームページ	3.3.1 g)
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	3	2	1	学生募集要項 学校ホームページ	3.3.1
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1	学校案内(パンフレット) 学校ホームページ	3.1.2 e)
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	3	2	1	学生便覧 学校ホームページ	3.3.1 a)
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	3	2	1	WCAGのHPを参照 https://waic.jp/docs/WCAG20/Overview.html 言語、文化、読み書き能力に関するニーズや障害や LGBT等の性的少数者に関する特別なニーズについ て(内規)	3.1.2 d)
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	3	2	1	学生便覧 プライバシーポリシー	3.3.1 c)
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録 他学校案内及び募集要項 競合校ベンチマーキング資料	3.3.1 x)

7-7においては、学習障害や適応障害の対応力等が不十分である。

② 今後の改善方策

対応方法や支援方法に関する研修会やセミナーへの参加をさらに行い、教務内にて共有する。

8	教	文育の内部質保証システム	適切・ やや2	··4、ほ 下適切·	ぼ適切 2. 不過	··3、 適切·1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	3	2	1	授業アンケート	3.4 3.5.1 d)e)
8	2	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容やカ リキュラムを評価しているかまたその評価方法、手段、スケジュール はどのようであるか)	4	3	2		授業アンケート授業参観記録報告書	3.5.3 a) 3.5.3 b)
8	3	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	3	2	1	授業アンケート QUアンケート 授業参観記録報告書	3.5.3 d)
8	4	教員及び職員の職務記述書を作成し、 これらを適切な間隔で見直しているか	4	3	2	1	自己申告シート 職務目標・能力申告表	4.6.1
8	5	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、 それらの評価結果を記録しているか	4	3	2	1	コンピテンシーシート 職務グレード評価	4.6.2 a), b),e)
8	6	教職員の仕事に対する意欲や満足度について聞き取りを行っている か	4	3	2	1	自己申告シート 職務目標・能力申告表	4.6.2 c)
8	7	専門分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教 員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか(研修 等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	3	2		専門分野教員研修会参加 新任教員研修資料 出張許可申請書	4.6.2 d)
8	8	業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	美容ネットワークサロン(情報交換会) 職業教育協定書(事業委託契約書)	4.6.2 x)
8	9	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1	プライバシーポリシー 個人情報の保護等に関する規程	4.1
8	10	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録	4.6.2 f)
8	11	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れ を含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	4	3	2	1	文書管理規程文書管理簿	4.1
8	12	内部監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、 当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	3	2	1	内部監査計画	4.9 a)~c)
8	13	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	3	2	1	内部監查報告書 改善要望事項報告書	4.9 d)
8	14	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方 法で実施されているか	4	3	2	1	改善要望事項報告書	4.9 e)
8	15	自己点検・評価結果を公開しているか	4	3	2	1	自己点検・評価結果	4.9 x)

8-1においては、授業アンケートを実施し担当教員にフィードバックしているが、それによりどの程度改善されたかが判断し難い。 8-2、8-3においては、教員のスキルUPをさらに高める計画的・継続的研修等の取組が必要である。

② 今後の改善方策

積極的に研修参加を促し、自己スキルUPのための自己研鑽にを意識して取り組みさせる。 教員間でお互いの授業参観を行い授業の質の向上に繋げる。

9	則	務			ぼ適切・ 2. 不適		エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2		監査報告書一式(経理) 学校ホームページ	4.5 a)
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2		資金収支計算書他 学校ホームページ	4.5 a)
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1	財務分析表 前受金保有率 学校中期計画	4.5 a) x
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	消費収支予算内訳表 学校ホームページ	4.5 a) x

9-4においては、2019年度作成中期計画において2020年度の消費収支目標は達成しているが在籍者数は達成率99%、教職員数は達成率80%と目標未達である。また、2016年度作成中期計画に関しては2020年度が最終年度となるが目標との乖離が更に大きくなっている。

② 今後の改善方策

中期計画策定において、根拠資料の精査や計画作成プロセスを見直す必要がある。 目標未達となった原因特定や計画修正時の根拠と変更後の有効性確認が必要である。

③ 特記事項

1	10 社会貢献·地域貢献				ぼ適切・ 2. 不適		エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	職業実践教育給付金講座決定通知書 基本奨励金支給決定通知書 認定職業訓練実施基本奨励金支給申請書	
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1	スチューデントサロン運営実施 オープンキャンパス学生スタッフ取組み	
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等 を積極的に実施しているか	4	3	2	1	求職者支援法に基づく職業訓練の認定通知	

① 課題

10-2においては、学生のボランティア活動に関して、意義をさらに考えさせて積極的に取組みをさせたい。

② 今後の改善方策

ボランティア活動に関しての取組む意識と姿勢を育てる指導を行う。また、上級生学生から下級生学生への取組み発信を検討する。

③ 特記事項

ボランティア活動を通して、地域貢献だけでなく学生の成長にも繋げていく事が重要。(主体的に取り組む姿勢をに見つけさせる)

1	1	国際交流(必要に応じて)			ぼ適切 2. 不適		エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1	留学生学生募集要項 日本語学校学生募集要項 日本語学校教員対象学校説明会実施要項	
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとら れているか	4	3	2	1	留学生学生募集要項 在留資格取次申請者在籍 留学生帰国前チェックシスト	
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されて いるか	4	3	2	1	留学生学生募集要項 下宿案内資料 校務分掌	
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1	決算事業計画報告書	

課題

11-2においては、今後の留学生の在籍数が増えていく傾向があるので学修及び生活指導面でさらに充実した対応をする必要がある。

② 今後の改善方策

担当部署の増員及びシステムの見直しを行う。